

平成 21 年度 事業 計画 書

平成 21 年 3 月 25 日

施設名	新潟市バイオリサーチセンター		
団体名	新潟バイオリサーチパーク株式会社		
団体所在地	新潟市秋葉区東島316番地2		
代表者名	代表取締役社長 佐藤 征也	設立年月日	平成 15 年 4 月 16 日
電話番号	(0250)25-1196		
FAX番号	(0250)25-1266		
Eメール	webmaster@nbrp.co.jp		

新潟市バイオリサーチセンター経営方針

- ・バイオテクノロジーに基づく食品及び環境分野は新潟で非常に大事な産業であり、企業がセンター利用し、研究成果を上げられるような活発な研究所にしていきたいと思っております。
- ・新潟市バイオリサーチセンター運営委員会(平成 19 年 5 月設置 センター長他 6 名)において、センターの運営全般について討議します。
- ・維持管理に於いては常に最良の施設状態を保つために細心の注意を払い、利用者が快適に利用できるよう努めるとともに、センター連絡会やアンケート等を通じ利用者の意見や要望を積極的に取り入れます。
- ・センターを利用している企業同士の交流の場や情報交換の場を設置するなど研究連携・事業連携の促進に努めます。
- ・施設の効用を最大限発揮するため、利用者確保に向けた活動を積極的に行います。
- ・施設の適正管理を行うため、警備・清掃を徹底すると共に、各種設備の定期点検を行います。

職員の配置(職種、人数、雇用形態、資格、技能、経験など)

- ・センター長…(研究者1名)
- ・分析技術者(会社業務との兼務)…(正社員1名)
- ・事務職(会社業務との兼務)…(正社員3名)

研修計画

- ・消防計画書及び危機管理マニュアルに基づき、社員及び施設利用者が守るべき事項や火災発生時および地震発生時のなど、緊急時の対応について十分理解をしてもらうよう訓練又は社員と施設利用者とのミーティングを行います。
- ・個人情報保護制度の意義や目的などについて研修を行い周知徹底を図ります。
- ・苦情(クレーム)に対する対応方法や交渉方針などを検討し、適切な対応ができるように研修を行います。
- ・施設利用者や訪問されたお客様への対応方法など接遇マナーを身につけるために、接遇研修を行います。

利用者確保の対策

- ・バイオの分野は多様性に富んでおり、このような幅広い分野の企業に入居してもらうため、企業に応じた利用者確保の対策を立てるようにしております。
- ・平成 19 年に設置したセンター運営委員会において、利用者確保の対策を立てることにします。
- ・地域の基幹産業である食品産業における活用が見込めることから、機能性食品・食品分析・食品安全に関する研究活動の誘致を重点的に進めます。
- ・企業ニーズに合った最適な研究体制を提供するため、様々な独自技術やノウハウを有する大学等研究者のネットワーク活用を図ります(県内外の産業支援機関等との連携協力)。
- ・技術相談窓口を設置し、企業の課題解決に向けた適切なアドバイスの他、具体的テーマについて技術指導・コンサルティングを行い、コンソーシアム(研究共同体)形成に結びつけていきます。
- ・新潟バイオリサーチパークニュースレターを通じ、大学等研究者、大学研究室の研究成果、研究課題等の情報を、企業に対し発信していくと共に、大学等研究者に対しても産業界のニーズ情報を提供していきます。
- ・見本市への出展など施設のPR、誘致に努めます。
- ・センターのホームページを通じて、施設のPR及び誘致に努めます。

個人情報の保護

- ・個人情報の保護に関する取扱仕様書の趣旨を遵守します。
- ・外部から侵入されてパソコンを持ち出された場合に備え、ログイン時にはパスワードを入力するよう設定します。
- ・センター利用者の情報に関しては、本人の了解なしに教えることはできない旨を伝え、こちらから連絡できるように先方の連絡先を確認し本人に伝えるよう周知させます。

緊急時対策

- ・事故や災害等の緊急事態が発生した場合に対応できるように、防災・危機管理マニュアルに基づき、年1回訓練を実施します。また、緊急時の対応について十分理解をしてもらえるよう施設利用者とのミーティングを行います。
- ・大規模停電などが発生した場合、各研究室の冷蔵庫などに保管されている貴重なサンプルや試薬などの損失が最小限にとどまるよう、発動発電機の設置などを検討していきたいと思えます。
- ・マニュアルにおいて、防災関連機関等の緊急連絡先を明確化し、緊急時に社員及び施設利用者へ迅速に情報を伝達し、二次災害等が発生しないよう情報を共有できるように連絡網を充実します。
- ・備品・ロッカー・照明器具等の転倒落下防止対策及び耐震補強を行うよう推進します。
- ・非常用物品等を確保し緊急時に備えるとともに、定期的に点検整備を行います。

要望・苦情対応

- ・利用者及び市民の意見や要望を把握するため、利用者アンケートを実施し、意見や要望に対し、適切な対応と迅速な解決をめざし、利用者の理解と満足感を高め、対応可能なものはできるだけ速やかに施設運営に反映させるように努めます。
- ・苦情対応は、十分話を聞くなど丁寧に対応し、社内及び新潟市への適切な情報伝達ができるよう努めます。

自主事業

「バイオテクノロジー」を軸に、関連分野における新規産業の創出や産業技術の高度化を図り、もって、地域産業の活性化に寄与することを目的として、次の事業を行う。

- (1) 大学、高等専門学校、短期大学、大学共同利用機関及び国等の試験研究機関(以下、大学等という)の特許権、著作権等の知的財産権に関する情報の収集・分析・評価・提供業務、権利の取得、実施契約の締結、維持、管理業務
- (2) 大学等から大学等以外への技術移転に関する調査研究、コンサルティング、斡旋、仲介業務
- (3) 大学等と大学等以外とのバイオテクノロジーに係る共同開発・その他研究連携に必要な斡旋、仲介等の業務
- (4) バイオテクノロジー及び食品安全性に係る技術相談、指導コンサルティング業務
- (5) 微量分析・測定コンサルティング業務
- (6) 上記事業に係る機関紙の発行、出版物の出版・販売、講演会・シンポジウム・セミナー等の開催に関する業務
- (7) バイオテクノロジーに関する人材育成のための教育、養成

(8)新潟バイオリサーチパーク共同研究施設棟の運営管理業務

(9)バイオテクノロジー関連商品開発、企画、立案並びに販売

(10)バイオテクノロジーに関する分析・実験機器及び実験設備・薬品の販売

(11)投資業(ベンチャー企業の創出目的)